

地域包括支援センターだより



第104号 令和6年4月1日発行

大垣市 地域包括だより

検索

「高齢者等見守りシール」を活用した

地域で

職場で

学校で

認知症ひとり歩き見守り模擬訓練を実施しました

1. 「見守り」はなぜ必要？

近年、認知症によるひとり歩き※に伴い、家族の負担も増えつつあります。行方不明の発生から時間が経つほど捜索が難しくなるばかりか、本人も強い不安や身体的危険にさらされます。また、ひとり歩き高齢者を家族だけで見守ることは困難であり、地域住民の皆様の協力が必要となってきます。

地域包括支援センターは市と協働し、地域の皆様が認知症についての理解を深め、連携を確認することを目的とした「認知症ひとり歩き高齢者見守り模擬訓練」に取り組んでいます。

令和4～5年度までに、宇留生・青墓・中川・北・上石津・江東地区、日新小・西中・西濃高等特別支援学校で開催いただきました。

※認知症の徘徊行動は、本人なりの目的があることから「ひとり歩き」としています。

2. ひとり歩き見守り模擬訓練の目指すもの

- 認知症を正しく理解する
- 行方不明になることを未然に防ぐため、困っている人に声をかけ、適切に対応できる
- 認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域をつくる



3. どんなことをするの？

- ① 認知症サポーター養成講座
… 認知症に関する基礎知識を学ぶ
- ② ひとり歩き見守り模擬訓練
… 認知症の人への声かけや対応の方法、見守りシールの活用方法を知る



これが見守りシールです
シールを身につけた方が
困っていたらお声かけを
お願いします！

QRコードを読み取り
→ 家族へ即時通知



発見者がQRコードを読みとると、
☆本人が安心できる対応方法が表示されます。
☆ご家族等に発見通知メールが送信されます。

「高齢者等ひとり歩き見守り模擬訓練」
および「高齢者等見守りシール」の
お問い合わせは、市役所高齢福祉課へ
☎47-7416（直通）

見守り模擬訓練の様子

（訓練時間 90分）

① 事業説明や訓練の目的、
認知症について、見守り
シールの使い方の講義を
受けます。



② 認知症高齢者役と声かけ
役を想定して、声かけ・
見守りシール活用訓練に
取り組みます。



対応の心得3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

③ 認知症高齢者役が身につ
けているQRコード（見守
りシール）を読みとり、
インターネット（どこシ
ル伝言板）でご家族と連
絡を取ります。



みなさんで協力して、
お困りのご高齢者を
無事にご家族のもとへ。

